

事業報告

I 概況

新型コロナウイルスの影響は大きく減少し、当協会の事業は通年に戻りました。2024年度は、各種講習会、運転業務研究発表会においては意見交換会も実施することで、会員間の交流を図りました。また、海外鉄道視察団は欧州の物価高と円安の影響を受けましたが、海外鉄道会社との交流により充実した調査が行われました。さらに、各種委員会、各支部総会および関東部会は計画通り全て実施したほか、試乗会も開催しました。

受託調査研究として、動力車操縦者運転免許制度のあり方に関しては鉄道事業者の意向を調査し、検討会を開催しました。また、動力車操縦者の身体検査（視機能・聴力）の基準の修正や、数値基準との整合性をとるための基礎データを収集し国土交通省に報告しました。さらに、「解説書 鉄道に関する技術基準(運転編)」(第九版)の発刊を行い、広く宣伝することにより収益に寄与しました。

II 会務関係

会務活動については、2024年6月28日に第14回定時社員総会、評議委員会及び第53回、第54回理事会を、11月22日に第55回理事会、支部長会議を開催した他、2025年3月7日に第56回理事会を開催して業務執行体制の更なる定着を図ってきた。

また、第18回運営委員会を2024年8月20日に開催したほか、各種委員会等についても、ほぼ計画通り実施することができた。

1 第14回定時社員総会

2024年6月28日13時30分 第14回定時社員総会をステーションコンファレンス万世橋（秋葉原）404会議室において開催した。会員総数23,382名中、出席者57名、委任状199,58名、合計200,15名（正会員及び法人会員総数の85.6%）にて定款第18条に基づく「過半数」を満たして成立し、次の議案を審議し、それぞれ承認、可決された。

(1) 報告事項

- ・2023年度事業報告
- ・2024年度事業計画及び収支予算について

(2) 決議事項

- 第1号議案 2023年度決算の承認に関する件
- 第2号議案 理事の選任に関する件

2 第14回評議委員会 ステーションコンファレンス万世橋

2024年6月28日 12時30分から開催し、次の案件を審議承認した。

議案 理事の候補者に関する件

報告事項 評議委員会委員

その他、総会附議事項の説明を行った。

3 理事会

(1) 第53回理事会 ステーションコンファレンス万世橋

2024年6月28日 12時45分から開催し、次の議案の審議及び可決を行ったほか、報告事項の承認を行った。

決議事項

- 第1号議案 2023年度事業報告について
- 第2号議案 2023年度決算及び監査報告に関する件
- 第3号議案 第14回定時社員総会への附議事項に関する件

- (1) 報告事項
 - ・ 2023年度事業報告
 - ・ 2024年度事業計画及び予算

- (2) 決議事項
 - ・ 理事の選任に関する件

- (2) 第54回理事会 ステーションコンファレンス万世橋
2024年6月28日 14時30分から開催し、次の議案の審議及び可決を行った。

決議事項

- 第1号議案 運営委員会委員の選任・承認に関する件

- (3) 第55回理事会 ステーションコンファレンス万世橋
2024年11月22日 16時00分から開催し、次の議案の審議及び報告を行った。

決議事項

- 第1号議案 2024年度表彰に関する件
2024年度運転功労者表彰者、協会功績者褒賞及び運転協会誌優秀作品表彰者の決定について

報告事項

- ・ 2024年度上半期決算報告について
- ・ 東記念賞選考委員会の選考結果について
- ・ 2024年度の運転業務研究発表会の結果について
- ・ 運輸業務管理ゼミナールの開催について
- ・ 会員状況について
- ・ 会務報告と今後の予定

- (4) 第56回理事会 喜山倶楽部
2025年3月7日 16時00分から開催し、次の議案の審議及び報告を行った。

決議事項

- 第1号議案 2025年度事業計画(案)及び予算(案)に関する件
- 第2号議案 第15回定時社員総会招集の件及び同社員総会に附議する議案に関する件

報告事項

- ・ 2024年度決算見込みについて
- ・ 2025年度の主要会務予定について
- ・ 会員状況について
- ・ 運転設備研修講座の開催について
- ・ 運転理論(運転曲線)講習会の開催について
- ・ 運転法規研修講座の開催について
- ・ 研修・講習会のご案内

4 運営委員会

- 第18回運営委員会 喜山倶楽部

2024年 8月20日 16時00分から開催し、次の案件の報告・審議を行った。

会務報告

- ・ 2024年度の会務経過と今後の予定
- ・ 会員状況について
- ・ 運転理論講習会開催について
- ・ 運転法規研修講座開催について
- ・ 運転関係指導者講習会開催について
- ・ 2024年度(第45回)運転業務研究会発表会について

審議事項

- ・ 2024年度運転功労者表彰の支部別割当数について

- 5 第29回支部長会議 ステーションコンファレンス万世橋
2024年11月22日 14時30分から開催し、次の案件の報告等を行った。
- ・支部別等会員数 (報告)
 - ・支部別・事業者別正会員数 (報告)
 - ・支部別・運輸局別法人会員数 (報告)
 - ・支部会員数の各年度月別推移 (報告)
 - ・支部活動状況経過まとめ (報告)
- 6 東記念賞選考委員会 ステーションコンファレンス万世橋
2024年11月22日 15時30分から開催し、候補案件を審議した。
その結果、下記案件に決定した。
- ・GOA 2.5 自動運転実現と今後の展開
(九州旅客鉄道株式会社)
- 7 企画委員会
- (1) 第305回開催 アートホテル大分会議室
2024年5月23日(木)に開催し、次の案件の報告と審議を行った。
- ・運転理論(運転曲線)講習会の開催について
 - ・2024年度運転業務研究発表会の開催とご参加のお願いについて
 - ・各社局の情報連絡について
 - ・その他
- (2) 第306回開催 東日本旅客鉄道株式会社 秋田支社会議室
2024年7月18日(木)に開催し、次の案件の報告と審議を行った。
- ・運転法規研修会の開催について
 - ・運転関係指導者講習会のご案内について
 - ・東記念賞の推薦について
 - ・各社局の情報連絡について
 - ・その他
- (3) 第307回開催 ホテルルートイン GRAND 旭川駅前
2024年9月19日(木)に開催し、次の案件の報告と審議を行った。
- ・運転功労者表彰の支部別割当について
 - ・運転関係指導者講習会について
 - ・運転業務研究発表会について
 - ・東記念賞業績候補への申請について
 - ・運転協会功績者褒賞の推薦について
 - ・各社局の情報連絡について
 - ・その他
- (4) 第308回開催 成田国際空港(株) NAA 会議室
2024年11月13日(水)に開催し、次の案件の報告と審議を行った。
- ・運転業務研究発表会について
 - ・運輸業務管理ゼミナールについて
 - ・東記念賞候補への申請(案)について
 - ・運転協会功績者褒賞候補者の推薦(案)について
 - ・運転協会誌の優秀論文会長賞候補作品、優秀論文賞候補作品、優秀エッセイ賞候補作品、佳作賞候補作品について
 - ・各社局の情報連絡について
 - ・その他

- (5) 第309回開催 京浜急行電鉄㈱「金沢文庫現業会議室」
2025年1月16日（木）に開催し、次の案件の報告と審議を行った。
- ・ 運転協会創立66周年記念式典での2024年度各賞の表彰について
 - ・ 運輸業務管理ゼミナールについて
 - ・ 各社局の情報連絡について
 - ・ その他

- (6) 第310回開催 阪急電鉄株式会社「本社 会議室」
2025年3月6日（木）に開催し、次の案件の報告と審議を行った。
- ・ 2025年度（第65回）海外鉄道視察団の派遣について
 - ・ 運転設備研修講座について
 - ・ 2025年度日本鉄道運転協会事業計画（案）概要
 - ・ 2025年度研修会・講習会のご案内について
 - ・ 各社局の情報連絡について

8 運転管理研究委員会

- (1) 第27回開催 東日本旅客鉄道株式会社 東北本部ビル 5階501AB会議室
2024年5月8日（水）に開催し、次の案件の審議を行った。
- ・ 「ICT化への取組みと諸課題について」
アンケート調査結果についての報告と各社局の取組みと課題等の意見交換
 - ・ 次回検討希望テーマ（課題）について
 - ・ 各社局の情報連絡について
 - ・ その他

- (2) 第28回開催 「九州旅客鉄道株式会社 大分支社会議室」
2024年11月28日（木）に開催し、次の案件の審議を行った。
- ・ 「運転職場における労働力不足への対応、多様な働き方の取組みについて」
アンケート調査結果の報告と各社局の取組み、課題等の意見交換
 - ・ 次回検討希望テーマ（課題）について
 - ・ 2024年度の委員長、副委員長（2名）の改選（選出）について
委員長：田中 庸久（京王電鉄㈱） ⇒野中 俊昭（小田急電鉄㈱）
副委員長：関 淳也（北海道旅客鉄道㈱）⇒熊本 大誉（東日本旅客鉄道㈱）
副委員長：田中 耕一（神戸市交通局） ⇒彌永 高則（福岡市交通局）
 - ・ 各社局の情報連絡について

9 安全情報委員会

2024年度は特に課題となる案件がなかったことから、委員会は開催しなかった。なお、A情報、B情報ともに情報提供はなかった。

10 運転協会誌編集委員会

2024年度は、6月6日に札幌、9月13日に大阪、11月7日に島根で開催したほか、上記を除く毎月上旬に東京地区において開催し、その都度運転協会誌の編集計画を審議して決定した。

11 運転協会事務担当者打合会議

運転協会の事業・支部活動・会員の増加対策ため、全国事務担当者会議を前期6月13～14日に札幌、後期は12月5～6日に高知にて開催また、関西地区事務担当者会議を10月17日に和歌山にて開催、関東地区事務担当者会議を9月6日に神奈川にて開催した。

1.2 支部活動

(1) 北海道支部	2024年 9月17日	会計監査
	2024年 9月27日	支部総会
(2) 東北支部	2024年 7月16日	会計監査
	2024年 7月30日	支部総会
(3) 新潟支部	2024年 4月22日	会計監査
	2024年 11月 5日	支部総会
(4) 中部支部	2024年 8月29日	会計監査
	2024年 9月30日	運営委員会
	2024年 9月30日	支部総会 講演
(5) 関西支部	2024年 5月10日	会計監査
	2024年 7月 9日	運営委員会
	2024年 7月25日	支部総会
	2024年 7月25日	運転業務研究発表会
(6) 広島支部	2024年 7月31日	会計監査
	2024年 8月26日	支部総会
	2024年 8月26日	運転業務研究発表会
(7) 四国支部	2025年 2月14日	会計監査
	2025年 3月 4日	支部総会 講演
(8) 九州支部	2024年 6月10日	会計監査
	2024年 7月24日	運営委員会
	2024年 7月24日	支部総会 講演
(9) 関東部会	2024年 9月 3日	部会

1.3 講演・試乗会

(1) 講演会

- ・第14回定時社員総会 2024年6月28日
講演者 元警視総監 池田 克彦様
演 題 危機管理と組織の在り方
- ・中部支部総会 2024年9月30日
講演者 西日本旅客鉄道株式会社 鉄道本部 安全研究所
ヒューマンファクターI研究室 室長代理 小倉 有沙様
演 題 「リスク感受性向上に関する研究」
- ・四国支部総会 2025年3月4日
講演者 公益財団法人鉄道総合技術研究所 人間科学研究部 安全心理
主任研究員 中村 竜様
演 題 「加齢の運転作業への影響と高齢運転士の活用」
- ・九州支部総会 2024年7月24日
講演者 西日本高速道路株式会社 九州支社 地域共創担当部長兼事業開発本部
地域共創戦略担当部長 濱野 昌志様
演 題 「企業内に改革を！」 ～インフラ経営と起業家精神～

(2) 試乗会

- ・2024年7月 阪急電鉄株式会社 PRiVACE・2300系新型車両 試乗会 (74名)
- ・2024年9月 近畿日本鉄道株式会社 新型一般車両「8A系」試乗会 (36名)
- ・2025年1月 大阪市高速電気軌道株式会社 夢州駅試乗会 (34名)
- ・2025年2月 京成電鉄株式会社 新型車両3200形試乗会 (71名)
- ・2025年2月 阪急電鉄株式会社 2000系新型車両 試乗会 (94名)

1 4 役員及び職員等（2025年3月31日現在）

役職名	定員	実員
代表理事・会長	1名	1名
代表理事・専務理事	1名	1名
執行理事	2名以内	2名
理事（上記を除く）	46名以内	44名
監事	2名以上5名以内	3名
職員・嘱託	—	7名

1 5 会員数（2025年3月1日現在）

正会員（個人）	22,731名（対前年同期比	927名減）
法人会員	230社（対前年同期比	4社増）

III 事業関係

1 2024年度の主な事業概要は、以下のとおりである。

- (1) 運転協会誌は、旬なテーマや会員からの意見を特集として取り上げ、読者が興味を持ち、役立つ内容の編集に注力した。
- (2) 受託調査研究は、国土交通省から「鉄道に関する技術上の基準を定める省令第106条（列車防護）等に関する調査検討」、「令和6年度動力車操縦者運転免許制度のあり方に関する調査検討」、「令和6年度動力車操縦者の身体検査に関する調査検討」の3件を受託した。
なお、鉄道事業者からの受託件名は東日本旅客鉄道株式会社から、「新幹線自動運転検討委員会」を受託し、完了した。
- (3) 自主研究は『異常時における基本的な対応・取組みについて』3月19日開催の第1回委員会においてテーマの選定、各事業者へのアンケート内容について承認された。
- (4) 2024年度の講習会は、運転設備研修講座（94名）、運転法規研修講座（138名）、運転理論（運転曲線）講習会（70名）、運転関係指導者講習会（247名）、運輸業務管理ゼミナール（77名）の合計626名の受講者の参加があった。
- (5) 運転業務研究発表会は、45回目となり11月14日、15日に開催され27件の研究テーマの発表があった。入場者数は558名であった。
- (6) 海外鉄道視察団派遣は、9月24日～10月3日までの10日間欧州3か国を訪問視察した。参加人員19名。
- (7) 平成23年4月1日にリスク情報共有化の仕組みの一環として、安全情報委員会を設置し、平成23年7月1日より、当面、法人会員30事業者（JR7社、公営7都市、大手民鉄16社）を対象とし、インデックス情報等からなる新しい情報共有のしくみを構築し、活動を開始した。2024年度においては、A情報、B情報ともに情報提供はなかった。

2 運転協会誌発行

第66巻4月号から第67巻3月号までを発行した。前年に引き続き協会会員の要望に応えるよう出来るだけ各号を特集化し、資料としても活用できるように配慮した編集に尽力して、会員の負託に応えられるよう更なる内容の充実を図った。

2024年	4月号	事故防止・安全対策	特集
〃	5月号	信号扱所	特集
〃	6月号	ダイヤ改正	特集
〃	7月号	階層別研修	特集
〃	8月号	高架化・連立事業	特集
〃	9月号	防犯対策	特集

〃	10月号	イベント	特集
〃	11月号	自然災害	特集
〃	12月号	乗務員養成	特集
2025年	1月号	(新年号のため特集なし)	
〃	2月号	業務研究	特集
〃	3月号	駅設備	特集

3 図書発行・販売

- (1)「解説 鉄道に関する技術基準（運転編）」（第九版）（令和6年6月発行）
省令及び解釈基準を制定した時点での技術的根拠、事例等の考え方等をまとめものであり、実施基準の策定、管理、運転の取扱い等に活用が期待される書で、販売数は1,262冊であった。
- (2)「運転理論（再改訂版）」（初版）（平成22年5月発行）
輸送計画における運転理論の役割、基礎項目の解説から運転線図の作成までを最近の鉄道技術の進歩に合わせて改訂した詳細解説の専門書で、販売数は141冊であった。
- (3)「鉄道のスピードアップ」（第四版）（平成8年7月発行）
鉄道のスピードアップの技術は、車両・施設・電気・運転等全般にわたるため、各専門分野の第一人者の方々の協力を得て、体系的に整理された技術書で、販売数は9冊であった。
- (4)「鉄道の運転保安設備（付 輸送計画実務の手引き）」（初版）（平成18年9月発行）
鉄道の運転保安設備に関する基本的な考え方や、新しいシステム・機器の開発を含め、輸送・運転・設備関係者の実務・教習用としてまとめ整理された専門技術書で、販売数は121冊であった。
- (5)「重大運転事故記録・資料（復刻版）追補第二版 昭和62年4月～平成23年3月」
（平成25年12月発行）
鉄道有史以来平成23年3月までの旧日本国有鉄道及び地方鉄道・軌道における重大事故記録をまとめたもので、鉄道の運転・保安業務に携わる方々を中心に購入希望があり、24冊の販売数であった。
- (6)「安全の仕組みから解く 鉄道の運転取扱いの要点」（初版）（平成24年8月発行）
鉄道の安全の仕組みの生い立ちと現在の運転取扱いとの関わりについてまとめたもので、鉄道事業者の関係者などに向けた専門書であるが、易しく核心を捉えた解説書で、販売数は26冊であった。
- (7)「安全のキーポイント～ヒューマンエラーの防止～」（復刻版）（平成26年2月発行）
平成8年以来、絶版となっていたが、会員の要望により復刻した。実務を基礎としたヒューマンエラーの防止を「こころの働き」「適性」「からだのリズム」「乗務作業の特徴」「エラー行動」「教育・指導方法」「運転用機器」「健康管理」の8つのキーとして捉え、解説をしている指導・保安担当関係者の基礎学習書で、販売数は21冊であった。
- (8)「実践運転概論」（第二版）（令和2年6月発行）
協会顧問が永年にわたって講習した内容をわかりやすくまとめて、書籍として発行した。また、一部版の改訂を行った。販売数は108冊であった。
- (9)「わかりやすい運転操縦実務」（初版）（平成27年3月発行）
平成25年度、26年度にかけて設置した「わかりやすい運転操縦実務研究委員会」による報告書を元に書籍化した。運転士目線での運転操縦実務を解説した技術解説書で、販売数は34冊であった。
- (10)このほか、運転協会誌の一般書店等における販売数が698冊であった。

4 受託調査研究

- (1)「鉄道に関する技術上の基準を定める省令第106条（列車防護）等に関する調査検討」（国土交通省委託）

鉄道の技術基準については、平成14年3月に技術基準省令が性能規定化されて以来、国土交通省から、この省令等の運転関係における見直しについての調査検討を委託されている。2024年度は、鉄道全般における列車防護の解釈基準において、講ずべき処置を直接的に把握することが難しいとの意見があることから、列車防護の措置を整理し、省令106条等に規定すべき内容について検討した。

また、運転の実務者において停車場・停留場の意識と異なる定義になっていることを懸念する意見があったことから、再整理を行った。

なお、「解説 鉄道に関する技術基準（運転編）」の見直しについては、技術基準調査研究会（運転）のもとで解説向上委員会において主に自動運転についての解説について検討を行った。

(2) 「令和6年度 動力車操縦者運転免許制度のあり方に関する調査検討」（国土交通省委託）

動力車操縦者の運転免許制度については、昭和31年に制定された動力車操縦者運転免許に関する省令（以下、「動免省令」という。）において、制度を定め、これまで運用されている。また、動免省令に規定される指定養成所については、昭和44年に制定された通達「指定動力車操縦者養成所に対する指導基準」（以下、「指導基準通達」という。）において、講習内容や使用教材等の運転士養成に必要な項目が定められているが、制定されて以降、一度も大きな見直しが行われることがないまま、今日に至っている。

一方、この間のハイブリッド車両等の導入や、CAI教材やシミュレータ等の効率的な学習を実現するための教材の充実等により、制定当時とは環境が大きく異なっていることから、運転士の資質の維持向上と鉄道輸送の安全が確保されることを前提に、令和6年度は動免省令並びに指導基準通達に対する鉄道事業者の意向を調査し、制度の見直しに向けた検討を国土交通省から委託され、報告した。

(3) 「令和6年度 動力車操縦者の身体検査に関する調査検討」（国土交通省委託）

動力車操縦者の身体検査（視機能・聴力）について、現在、省令で定められている、各耳とも5メートル以上の距離でささやく言葉を明らかに聴取できること。（以下、「囁き声検査方式」という。）と定められている基準を、将来オーディオ・メーターでも測定可能な数値基準に見直すことを想定し、動力車操縦者が聴取すべき音の種類や暗騒音等に関する調査を令和5年度に続き委託され、国土交通省に報告した。

令和6年度においても、上記調査に加え、聴力検査を囁き声検査方式で実施している鉄道事業者を訪問し、囁き声の音圧と周波数を測定し、数値基準との整合性を検討するための基礎データを収集し、その結果を国土交通省から委託され、報告した。

(4) 「新幹線自動運転検討委員会」（JR東日本委託）

少子高齢化や働き方改革などにより社会環境が変化する状況においても、効率的でサステナブルな鉄道経営を維持し、より安全かつ利便性の高い輸送サービスの実現を目指し、現在新幹線の自動運転実現に向けた検討・開発を行っている。システムの安全性や信頼性、運転取扱いなど様々な角度から検討を進めるため、「新幹線自動運転検討委員会」を設立した。

委員会を効率的に運営するための検討課題に関する成果物整理、議事録作成・整理等をJR東日本より委託され、昨年からは継続して5回実施し終了した。

5 自主研究

2024年度（第42回）調査研究テーマ『異常時における基本的な対応・取組みについて』と『アンケート内容』について第1回委員会にて承認をいただき、2025年4月に30社局へアンケート調査を実施した。現在、小委員会2回、幹事会13回開催し、研究成果について2026年3月を目標に取り纏め、第2回委員会で報告・承認いただいた後、2026年5月中旬を目途に製本し、実効性の高い報告書を各事業者へ配布できるよう取り組んでいる。

6 講習会等

(1) 第29回運転設備研修講座

- ・施行日 2024年6月12日～14日
 - ・会場 機械振興会館
 - ・受講者 94名
 - ・講師 (順不同・敬称略)
- | | | |
|-------------------|---------|---------|
| 国土交通省鉄道局技術企画課 | 電気基準係長 | 荒井 健吾 氏 |
| 東日本旅客鉄道(株) 鉄道事業本部 | 安全企画部主幹 | 片方 喜信 氏 |
| 一般社団法人日本鉄道運転協会 | 顧問 | 寒河江 仁 氏 |
| 一般社団法人日本鉄道運転協会 | 顧問 | 石井 信邦 氏 |

(2) 第30回運転理論(運転曲線)講習会

- ・施行日 2024年8月27日～30日
 - ・会場 機械振興会館
 - ・受講者 70名
 - ・講師
- | | | |
|--------------------|--|---------|
| 元JR水戸鉄道サービス(株) 監査役 | | 赤津 尚孝 氏 |
|--------------------|--|---------|

(3) 第30回運転法規研修講座

- ・施行日 2024年9月4日～6日
 - ・会場 機械振興会館
 - ・受講者 138名
 - ・講師 (順不同・敬称略)
- | | | |
|-----------------|----------|---------|
| 国土交通省鉄道局技術企画課 | 運転基準係長 | 鈴木 健二 氏 |
| 東京地下鉄(株) 安全・技術部 | 技術管理担当部長 | 作原 敏弘 氏 |
| 一般社団法人日本鉄道運転協会 | 顧問 | 石濱 順吉 氏 |

(4) 第59回運転関係指導者講習会

- ・開催日 前期 2024年10月9日(水)～11日(金)
後期 2024年10月23日(水)～25日(金)
 - ・会場 機械振興会館
 - ・受講者 247名(前期127名 後期120名)
 - ・講師 (順不同、敬称略)
- | | | |
|-------------------|------------------------|---------|
| 国土交通省 鉄道局 | 安全監理官 | 竹島 晃 氏 |
| JR東日本健康推進センター | 所長 | 笠原 悦夫 氏 |
| (株)JR東日本パーソネルサービス | 医学適性科担当部長 | 山本 尚寿 氏 |
| | 常務取締役 | |
| | 総合研修センター | |
| | 事業本部 副本部長 | 佐藤 寿 氏 |
| 株式会社ルミネクリエーツ | 代表取締役社長 | 土屋 博一 氏 |
| (株)JR東日本パーソネルサービス | コンサルティング | |
| | 事業部マネージャー | 吉田 秀貴 氏 |
| 政策研究大学院大学 | 教授 | 鈴木 博人 氏 |
| JR東日本研究開発センター | シニアリーダー(ヒューマンファクター) | |
| | | 楠神 健 氏 |
| JR東日本研究開発センター | ユニットリーダー(ヒューマンファクター) | |
| | | 藤代 博明 氏 |
| JR東日本研究開発センター | ユニットマネージャー(ヒューマンファクター) | |
| | | 千葉 武史 氏 |

(株)パーソネルサービス(派遣依頼) (株)オンリーワン専属講師 川添 美和 氏

(5) 第22回 運輸業務管理ゼミナール

- ・ 施行日 2025年2月6日～7日
- ・ 会場 機械振興会館
- ・ 受講者 77名
- ・ 講師 (順不同・敬称略)

国土交通省 鉄道局	安全監理官	竹島 晃 氏
元帝都高速度交通営団		佐藤 公一 氏
(株)オンリーワン	専属講師	森 みや子 氏
東急電鉄株式会社	総括産業医	伊藤 克人 氏
静岡英和学院大学	教授	重森 雅嘉 氏
西日本旅客鉄道株式会社	安全研究所担当部長	鶴原 修 氏

7 第64回海外鉄道視察団派遣

2024年度の海外鉄道視察団派遣は、参加者19名で開催、9月24日～10月3日までの10日間の行程で欧州3か国(ドイツ、スイス、フランス)を訪問、視察を行った。

8 第45回運転業務研究発表会

- (1) 実施日 2024年11月14日(木)、11月15日(金)
- (2) 会場 機械振興会館 ホール
- (3) 聴講者 無料
- (4) 発表社局と発表テーマ 24社局27テーマ(2024年度までの累積発表件数1,029件)
- (5) 発表者と表彰結果

第45回運転業務研究発表作品数は27件の応募があり、発表後の審査結果は、鉄道局長賞1社、協会会長賞1社、交通新聞社賞1社、審査委員特別賞1社、優秀賞7社、奨励賞7社、努力賞9社であった。

(運転業研発表会作品成績表 別紙-1参照)

9 創立記念式典及び表彰関係

2025年1月29日創立66周年記念式典を飯田橋ホテルメトロポリタンエドモントにおいて挙行し、東記念賞、運転功労者表彰、運転協会誌優秀作品賞及び協会功績者褒章の表彰を行った。(運転功労者賞、運転協会誌優秀作品賞、協会功績者褒賞名は、別紙-2, 3参照)

(1) 東記念賞

件名	受賞者
GOA2.5自動運転実現と今後の展開	九州旅客鉄道株式会社

- (2) 運転功労者賞：鉄道の運転業務に顕著な功績があつて支部長から推薦された28名に表彰状を授与した。累計では2024年度までに1,263名を数えている。
- (3) 運転協会誌優秀作品賞：運転協会誌において特に優秀と認められた作品に対して優秀論文会長賞1名、優秀論文賞3名、優秀エッセイ賞3名に表彰状を授与した。
- (4) 協会功績者褒賞：運転協会の発展に特に貢献された5名に褒賞を授与した。

10 運転協会誌表紙写真コンテスト

2025年度用運転協会誌表紙写真コンテスト（応募者53名、作品210点）は、2025年3月5日の審査で入選作品を決定し、表彰した。

特選	翠緑の力走	東海旅客鉄道（株）	羽佐田 浩泰 氏
1等	青い閃光	相模鉄道（株）	谷口 清和 氏
	朝焼けの中	京王電鉄（株）	吉田 忠司 氏
	-20℃の朝	東武鉄道（株）	志村 泰洋 氏
2等	6点		
佳作	10点		

（運転協会誌表紙写真コンテスト入賞者一覧 別紙-4 参照）

別紙 - 1 第45回運転業務研究発表会 研究作品成績表
 2024年度 第45回運転業務研究発表会 研究作品成績表
 2024年11月14日・15日 場所：機械振興会館

賞	標 題	会 社 名	職 場 名
鉄道局長賞	激甚災害発生時における乗務員の対応力強化	東海旅客鉄道株式会社	静岡支社 浜松運輸区
協会会長賞	すべてはお客様の笑顔とありがとうのために ～SPACIA X誕生から現在までの軌跡～	東武鉄道株式会社	鉄道事業本部 営業統括部 運輸部春日部乗務管区
交通新聞社賞	乗務員が作る！スマホアプリによる業務変革	小田急電鉄株式会社	交通サービス事業本部 運転車 両部足柄乗務所 喜多見乗務所 大野乗務所
審査員特別賞	主任車掌が挑む新時代 ～進化する主任車掌～	東急電鉄株式会社	鉄道事業本部 運輸部 長津田車掌区
優秀賞	指令員の正確な力量把握と教育方法の確立	東日本旅客鉄道株式会社	新幹線統括本部 新幹線総合指令所
優秀賞	インバウンド旅客をお迎えするにあたって	阪急電鉄株式会社	都市交通事業本部 運輸部 京都線運輸課運輸係
優秀賞	駅運転取扱い体制の構築	愛知環状鉄道株式会社	運輸部 運輸課指令担当 新豊田駅
優秀賞	異常時能力向上について	IRいしかわ鉄道株式会社	運輸部 運転センター
優秀賞	乗務員開発アプリによる事故防止と業務改革	東海旅客鉄道株式会社	東海鉄道事業本部 亀山運輸区
優秀賞	BIOSTYLE(節電)運転プロジェクト	京阪電気鉄道株式会社	大津営業部 営業課 運輸区
優秀賞	当区乗務員の「人材育成」と「働きがいの創出」	九州旅客鉄道株式会社	門司車掌区
奨励賞	乗務員の声プロジェクト ～最上のソフト強化～	西日本鉄道株式会社	鉄道事業本部 運転車両部 運輸課 柳川乗務所
奨励賞	人間特性に基づくヒューマンエラー防止指導	四国旅客鉄道株式会社	多度津運転区
奨励賞	車いす用ケアスロープの視認性向上	南海電気鉄道株式会社	鉄道事業本部 運転車両部 高野線列車区
奨励賞	生成AIを活用した教育支援ツールの可能性	西武鉄道株式会社	鉄道本部 運輸部 飯能乗務所
奨励賞	～万博輸送における現状の課題と対策～	大阪市高速電気軌道株式会社	交通事業本部 運輸部 乗務運輸事務所 森之宮乗務所
奨励賞	阪急版安全ガイドブックの作成	阪急電鉄株式会社	都市交通事業本部 運輸部 神戸線運輸課運輸係
奨励賞	『ドア挟み件数「0件」に向けた活動』	東京地下鉄株式会社	鉄道本部 運輸部 日比谷線乗務管区
努力賞	情報シェアボードの軌跡 事故防止からコミュニケーションツールへの歩み	京浜急行電鉄株式会社	鉄道本部 運輸営業部 久里浜乗務区
努力賞	『新型車両導入に伴う情報共有の在り方』 ～“20系あるある”の作成～	京都市交通局	高速鉄道部 烏丸線運輸事務所
努力賞	報告しやすい環境づくり ～風土改革を目指して～	名古屋鉄道株式会社	鉄道事業本部 運転保安部 大山乗務区
努力賞	「乗務員の知識向上に向けた新たな取り組みについて」	近畿日本鉄道株式会社	鉄道本部 大阪統括部 運輸部 東生駒列車区
努力賞	「乗務員室備え付け靴の改良について」	京王電鉄株式会社	鉄道事業本部 鉄道営業部 富士見ヶ丘乗務区
努力賞	【大量輸送を事故無くA.R.E.するために】 ～催物開催の大量輸送における改札内の安全確保～	阪神電気鉄道株式会社	都市交通事業本部 運輸部 甲子園駅管区
努力賞	「私ならどうする？ ～考えて動ける職場を目指して～」	近畿日本鉄道株式会社	鉄道本部 名古屋統括部 運輸部 塩浜列車区
努力賞	北海道新幹線乗務員の教育体制とその成果	北海道旅客鉄道株式会社	函館新幹線運輸所
努力賞	リスクマップを活用した重大事故防止	西日本旅客鉄道株式会社	金沢支社 教賀列車区

2024年度運転功労者表彰

番号	支部	賞	社名	所属部署・役職	氏名
1	北海道	運転功労者	北海道旅客鉄道株式会社	名寄運転所 所長	北村 元
2	東北	運転功労者	阿武隈急行株式会社	運輸部長兼安全統括管理者	森 剛
3	新潟	運転功労者	しなの鉄道株式会社	運輸部長	中沢 智宏
4	関東	運転功労者	東日本旅客鉄道株式会社	横浜支社 鉄道事業部 安全企画ユニット マネージャー	渡邊 幸雄
5	関東	運転功労者	東日本旅客鉄道株式会社	千葉支社 千葉統括センター 副所長 (兼務ユニットリーダー)	藤崎 修司
6	関東	運転功労者	東急電鉄株式会社	鉄道事業本部 運輸部 運輸計画課 課長補佐	小林 満
7	関東	運転功労者	東京地下鉄株式会社	上野駅務管区 区長	湯浅 勝
8	関東	運転功労者	東京地下鉄株式会社	千代田線乗務管区 区長	小野 清
9	関東	運転功労者	京浜急行電鉄株式会社	鉄道本部 運輸営業部 金沢文庫乗務区 区長	山室 佳久
10	関東	運転功労者	京王電鉄株式会社	鉄道事業本部 鉄道営業部 京王東管区 管区長	南澤 佳宏
11	関東	運転功労者	西武鉄道株式会社	鉄道本部 計画管理部 次長兼運行計画課長	村上 浩二
12	関東	運転功労者	京成電鉄株式会社	人事部 労務課 課長補佐	松井 健三
13	関東	運転功労者	京成電鉄株式会社	運輸部 運転課 課長	青木 昌彦
14	関東	運転功労者	東武鉄道株式会社	運輸部 運転課 課長補佐	山本 司
15	関東	運転功労者	小田急電鉄株式会社	交通サービス事業本部 運転車両部 海老名乗務所 助役	山崎 厚
16	関東	運転功労者	相模鉄道株式会社	営業部 駅務サービス課 横浜管区 横浜管区長	五十嵐 徹
17	関東	運転功労者	東海旅客鉄道株式会社	新幹線鉄道事業本部 運輸営業部 輸送課 課長代理	丸谷 秀文
18	関東	運転功労者	江ノ島電鉄株式会社	鉄道部 運輸課 駅 駅長	井口 貴之
19	中部	運転功労者	名古屋市交通局	営業本部 電車部 電車運転課 電車運転課長 (運転管理者)	長村 光恭
20	中部	運転功労者	東海旅客鉄道株式会社	東海鉄道事業本部 豊川駅 駅長	小川 和彦
21	中部	運転功労者	大井川鐵道株式会社	新金谷運輸区 運輸区長	杉本 真
22	関西	運転功労者	阪急電鉄株式会社	都市交通事業本部 運輸部 宝塚線運輸課 運転係 運転係長	辻 禎
23	関西	運転功労者	近畿日本鉄道株式会社	鉄道本部 大阪統括部 運輸部 運行課 課長補佐	井野 勲
24	関西	運転功労者	神戸市交通局	高速鉄道部 高速鉄道部長	繁田 和彦
25	関西	運転功労者	株式会社JR西日本メンテック	運輸技術調査部 課長	三好 和紀
26	関西	運転功労者	京阪電気鉄道株式会社	営業推進部 営業課 係長	野口 修
27	九州	運転功労者	西日本鉄道株式会社	鉄道事業本部 運転車両部 運転課 運転課長	今福 勝
28		運転功労者	日本貨物鉄道株式会社	東海支社 稲沢機関区 区長	林 敏彦

2024年運輸協会誌 優秀論文会長賞、優秀論文賞、優秀エッセイ賞候

1. 優秀論文会長賞作品

執筆者名	会社名	標 題
村田 拓也	首都圏新都市鉄道	人間とシステムの協働で培ったつくばエクスプレスのATO運転 (GoA2.0) (2024.4月号)

2. 優秀論文賞作品

執筆者名	会社名	標 題
二宮 翼	東日本旅客鉄道	東日本旅客鉄道における人材育成 (2024.7月号)
木村 文彦	西日本旅客鉄道	ダイヤ乱れ時の輸送計画におけるAIの活用方 (2024.3月号)
高橋 恭平	東京都交通局	急行の新行路, 新しい時代へ (2024.6月号)

3. 優秀エッセイ賞作品

執筆者名	会社名	標 題
高橋 映里	東日本旅客鉄道	【運転日誌余話】(380)車掌編 乗務員の多様な働き方 (2023.12月号)
生駒 圭史	くま川鉄道	【鉄道紀行】(443) くま鉄復旧の歩みと沿線の魅力 ー人吉球磨復興の希望へー (2024.1月号)
布川 桃子	北大阪急行電鉄	【職場のわだい】(341) 北大阪急行電鉄 延伸線開業 ー千里中央からつながるひとつ先の駅へ, ひとつ上の未来へー (2024.6月号)

2024年度 協会功績者褒章

氏 名	会社名	職 名
高橋 正信	西武鉄道株式会社	鉄道本部安全推進部長
岡本 広基	南海電気鉄道株式会社	公共交通グループ鉄道事業本部安全推進部次世代鉄道システム導入推進課長
井野 誠	阪神電気鉄道株式会社	都市交通事業本部運輸部 営業課 課長
浅倉 裕嗣	日本貨物鉄道株式会社	東海支社 運輸車両部長
齋藤 修一	東日本旅客鉄道株式会社	長野支社 鉄道事業部 指令・サービス品質ユニット マネージャー

２０２５年度運転協会誌表紙写真コンテスト入賞者

応募総数 ５３名 ２１０点

賞	氏名	所属会社	作品名
特選	羽佐田 浩泰	東海旅客鉄道(株)	翠緑の力走
1等	谷口 清和	相模鉄道(株)	青い閃光
	吉田 忠司	京王電鉄(株)	朝焼けの中
	志村 泰洋	東武鉄道(株)	-20℃の朝
2等	大場 賢治	近畿日本鉄道(株)	凜として
	小川 昌幸	東急電鉄(株)	墨絵の世界 只見線
	荒井 剛	東武鉄道(株)	霧氷を駆ける
	小林 航	京浜急行電鉄(株)	爆雪を貫く
	山田 里美	小田急電鉄(株)	勇猛
	北川 治	小田急電鉄(株)	Sunset
佳作	原田 将浩	南海電気鉄道(株)	復活銀釜 EF81-303
	小峰 一茂	東武鉄道(株)	ツートン春爛漫
	中原 英雄	東急電鉄(株)	富士山
	井筒 博之	首都圏新都市鉄道(株)	光る山
	三木 啓史	山陽電気鉄道(株)	西陽を浴びて
	中久喜 保	相模鉄道(株)	紅葉のトンネルを抜けて
	谷元 健治	しなの鉄道(株)	冬、宗谷の主役DE15
	尾針 智昭	(株)ゆりかもめ	雪魂氷姿(せっぱくひょうし)
	佐々木 優	南海電気鉄道(株)	蒼々たる若葉隧道、その輝きたるや
	吉國 洋伸	東海旅客鉄道(株)	Dreamin'